

各 位

株式会社 **キッツ**
代表取締役社長 河野 誠
千葉市美浜区中瀬一丁目10番1
東証1部 6498

NEDOグリーンイノベーション基金事業
「水素航空機向けコア技術開発」への参画について

川崎重工業株式会社様(以下、川崎重工)は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下、NEDO)から公募された「グリーンイノベーション基金事業/次世代航空機の開発プロジェクト」に、「水素航空機向けコア技術開発」(以下、本事業)を提案し、2021年11月5日に採択されました。

キッツはこのたび、本事業への参画企業として、川崎重工より「水素航空機向けエンジン燃焼器・システム技術開発」及び「液化水素燃料貯蔵タンク開発」におけるバルブの技術開発の再委託を受けましたのでお知らせします。

記

本事業は、2020年12月25日に経済産業省が関係省庁と策定した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に示される、積極的な温暖化対策を行うことで産業構造や社会経済に変革をもたらし、次なる成長につなげていく「経済と環境の好循環」の一助を担うことを目指すものです。

本事業の研究項目は、「水素航空機向けエンジン燃焼器・システム技術開発」、「液化水素燃料貯蔵タンク開発」、「水素航空機機体構造検討」の3つで構成されています。カーボンニュートラル社会に不可欠となる次世代航空機の実現に必要な機体・エンジン関連のコア技術開発のうち、キッツは水素航空機に使用されるバルブの技術開発を担当します。

キッツは、水素を動力源とする燃料電池自動車に、高圧の水素を供給する水素ステーション用ボールバルブの開発に、国内のバルブメーカーとして初めて成功、2012年より販売しています。また、2020年4月には、パッケージユニット型水素ステーション事業を開始しています。さらに、水素エネルギーのサプライチェーン全域へのバルブの提供を目指し、水素の大量輸送手段となる液化水素向けの大口徑バルブの開発にも着手しています。

キッツは、本事業におけるバルブの技術開発を通じて次世代航空機の実現に寄与するとともに、水素関連事業の推進により2050年までのカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

以 上

■本件に対するお問い合わせ先

バルブ事業統括本部 プロダクトマネジメントセンター
水素ステーション事業推進部
TEL:043-299-1765